



【親子で楽しむものづくり】		【継続チャレンジ】	
2025/08/08	長岡京市 親子で探るミライとものづくり	河内長野市 かわちラボ(小学生)	
2025/08/09	姫路市 不思議!なぜ!三輪モーターカー工作	2025/08/20	河内長野市 挑戦状(1) micro:bitプログラム
2025/08/19	寝屋川市 からくりロボ工作で健康体操	2025/11/12	河内長野市 挑戦状(2) 三輪モーターカー
2025/09/13	池田市 父と子のものづくりWS	2026/03/06	河内長野市 挑戦状(3) 連射!割りばし鉄砲
2025/11/23	大東市 カラフルフェスタ三輪モーターカー	賛助会員企画協働 堺市 折紙ラボシリーズ	
2025/12/13	田尻町 わくわく★エンジニア 折紙ランタン	2025/06/14	堺市 折紙ラボ(1)「ユニット折りの小箱」
2025/08/10	茨木市 リコチャレ夏休み理工系工作	2025/08/03	堺市 折紙ラボ(2)「ランタン」
【理工系への入口～社会・企業とつながる】		2025/10/19	堺市 折紙ラボ(3)「なまこ折り」
2025/08/18	大阪市 企業CSR (株式会社JEI) 親子で挑戦!からくり鍵付き宝箱づくり	【授業でモノづくり】 大阪市総合教育センター連携、企業後援	
2025/08/21	大東市 大阪産業大学 藤本雄紀研究室) 第4回MC祭2025 CAD設計&電子工作WS	2025/12/01	大阪市立長谷川小学校 折紙ソリ&万華鏡ワークショップ
2025/12/25	明石市&キャタピラジャパン リコチャレ工作 (うそ発見器はんだ付け工作)	2025/12/11	大阪市立長谷川中学校 工具を使って組み上げるドリフトカー制作
【ベテラン女性のキャリアデザイン】 語りに学び問いに動くラウンドテーブルシリーズ			
2025/06/12	第2回 子育てとキャリアの交差点からの実践知	2025/10/11	第3回 道なき道を拓く技術者キャリアの選択
2025/09/19 折紙でものづくり交流セッション担当 エストニア女性起業家の皆さまと (大阪商工会議所女性リーダー表彰(通称ブルーローズ表彰) 受賞者有志の交流会)			
【若手会自主企画】			
2025	ほぼ月定例会		
2025/10/25	交野市 CYT完全企画 イチから作る!ぜんまいカー		
2025/11/22	匠サロンLive!トーク&懇話 ～挑戦を支える3つの力 技術者人生からの学び～		
2025/12/06	神戸市 KOKORO-NET in KOBE共催、 Karakuri Craft Workshop (兵庫国際交流会館 IF Nadacom Station)		
2026/03/29	若手会 CYT年間活動報告会2025 ～これまでの歩みと、これからの連携～		

若者の底力が、ものづくりの未来をひらく～若手会「CYT」の自主企画に伴走して～

2025年度の活動を通して、私たちは若者の底力と、大きなポテンシャルを実感しました。それを象徴するのが、12月6日に神戸で開催された、神戸大学G-naviの後援により、KOKORONETinKOBEとで共催された「からくり人形に学ぶ日本文化体験ワークショップ」です。この企画では、大学院生が基本設計を担い、大学生が詳細を詰め、化学を専門とする高専生が全体をマネジメントしました。本番前には、MC会員の協力を得て小学生親子向けの試行教室を行い、課題を洗い出しました。そして、言葉の壁を越えるために、文字よりも写真を中心にした工作説明資料を準備しました。当日は9か国の参加者を迎え、CYTメンバーが一人ひとりに寄り添いながら、からくりカーづくりを支えました。設計する人、整える人、全体を見る人、伝える人。それぞれが目的達成のために、自分のできることを考え、動きました。そこにあったのは、指示待ちではない主体的な協調性でした。若者は、本気で挑戦できる場に出会ったとき、驚くほどの力を発揮します。私たちは、その姿から大切なことを学ばせてもらいました。

ものづくりは、技術を学ぶだけの場ではありません。考える力、試す力、伝える力、支える力、仲間とともにやり抜く力を育てる場です。技術とマインドの両輪がそろってこそ、人は育ちます。CYTの若者たちは、私たちに大切なことを教えてくれました。本気で挑戦できる場があれば、人は自分の力を信じて動き出す。そして、その挑戦を支える環境があれば、技術だけでなく、人と向き合う力や、仲間とやり抜く力も育っていく。私たちはこれからも、若者が本気を出せる場をどう広げ、その挑戦をどう支え続けられるのかを問いながら、歩んでいきます。メイカーズクラブは、子どもたちの「好き」を未来につなぎ、若者が本気で挑戦できる場を、仲間と、そして、若者たちとともに育てていきます。(代表・中谷)



【親子で楽しむものづくり】

親子で並んで手を動かし、試して、笑って、発見する活動です。家庭での会話にもつながる工作体験を集めました。

長岡京市 | 親子で探るミライとものづくり - リケジョを知るワークショップ

日時: 2025/08/08@長岡京市立図書館

対象者: 小学4~6年生の親子7組

講師: 中谷 敬子 (NPO法人メイカーズクラブ・代表)

／高専女子学生3名が工作サポート

活動の様子: 親子で三輪モーターカーを作りながら、理工系の学びにふれるワークショップです。車がまっすぐ走らなかったり、思いがけない動きをしたりするたびに、「どうしてかな」「もう一回やってみよう」という会話が生まれました。ものづくりを通して、未来の学びを身近に感じられるひとときでした。



姫路市 | 不思議な動きには訳がある！三輪モーターカー工作教室

日時: 2025/08/09 13:30~16:00

場所: イグレひめじ セミナー室A (姫路市男女共同参画推進センター「あいめっせ」)

対象者: 小学4~6年生 (保護者1名まで同伴可)

講師: 中谷 敬子 (NPO法人メイカーズクラブ代表／大阪公立大学工業高等専門学校教授)

活動の様子: 三輪モーターカーを組み立てて走らせると、予想と違う動きに思わず笑顔がこぼれます。その不思議な動きには、ちゃんと理由があります。親子で観察し、考え、もう一度試す中で、工作の楽しさと理科の面白さが自然につながっていきました。



茨木市 | リコチャレ夏休み理工系工作教室

日時: 2025/08/10 10:00~12:00ほか

場所: ローズWAM (茨木市市民活動センター)

対象者: 小学生向け講座／中学生向け講座

講師: 中谷 敬子 (NPO法人メイカーズクラブ・代表)／大学生・高専生がTA

概要: 夏休みの一日、子どもたちは「動く」「鳴る」「変わる」ものづくりに挑戦しました。午前は三輪モーターカー、午後はmicro:bitを使った音楽プログラミング。うまくいった喜びも、少し悩んだ時間も、全部が学びになります。理工系の世界を、楽しい体験として味わえる教室でした。



寝屋川市 | からくりロボ工作で健康体操

日時: 2025/08/19

場所: 寝屋川市立市民会館 4階 市民活動センター子ども室

対象者: 祖父母・保護者・子ども 計3組

講師: 伊坪 恵先生 (関西医科大学)／工作 池田 優央さん、サポーター CYT、高専

概要: 体を動かして笑顔になったあと、からくり人形づくりに挑戦しました。おじいちゃん、おばあちゃん、保護者、子どもが同じ机を囲み、「ここを動かすとどうなるかな」と声をかけ合います。工作を通して、世代をこえた会話が自然に生まれる、やさしい時間になりました。



池田市 | 父と子のものづくりワークショップ

日時: 2025/09/13 10:00~11:30

場所: ツナガリエ石橋5階 ダイバーシティセンター (池田市)

対象者: 小学3~6年生と父親 (10組)

講師: 中谷敬子、CYT大学生サポーター1名

概要: お父さんと子どもが並んで、三輪カーづくりに挑戦しました。工具を使う場面では少し緊張しながらも、親子で相談して進める姿が印象的。車が走り出すと、うまくいったところも、思いがけない動きも、全部が楽しい発見に。「子どもの創造力に気づいた」という声もありました。



大東市カラフルフェスタ | おやこものづくり教室 三輪モーターカー

日時:2025/11/23 時間記載なし

場所:大東市カラフルフェスタ(会場詳細は記事記載なし)

対象者:親子(詳細学年・人数は記事記載なし)

講師:NPO法人メイカーズクラブ(個人名は記事記載なし)

活動の様子:カラフルフェスタで、親子一緒に三輪モーターカーを作りました。部品を取り付け、走らせ、少しずつ調整していく中で、モーターのしくみが目の前の動きとして見えてきます。お祭りの楽しい雰囲気の中で、親子の会話も弾むものづくり体験になりました。



田尻町 | わくわく★エンジニア体験 おりがみランタン工作にチャレンジ

日時:2025/12/13 時間記載なし

場所:大阪府田尻町

対象者:小学生

講師:NPO法人メイカーズクラブ、CYT、大阪公立大学航空宇宙工学科大学院生2名(うち、田尻町出身1名)

活動の様子:折紙の形を活かして、光るランタンを作りました。紙を折る工夫は、実は宇宙開発などの技術にもつながっています。難しい話も、手元で広がる形ややわらかな灯りになると、ぐっと身近に感じられます。親子で「きれいだね」と眺めたくなる、わくわくするエンジニア体験でした。



一歩先行く先輩からのメッセージ

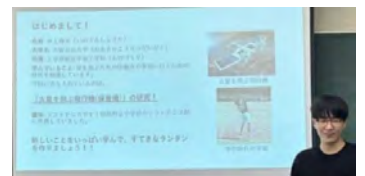
空や宇宙を飛ぶ乗り物の仕組みを研究している先輩

飛行機や人工衛星、ロケットなど、空や宇宙を飛ぶ乗り物のしくみを研究する**航空宇宙工学**を大阪公立大学 工学部 航空宇宙工学科の**佃 絢太さん**。航空機やロケット、人工衛星の写真を見せながら、大学ではどのような研究が行われているのかを分かりやすく説明しました。「失敗しても大丈夫。大学の研究でも、失敗から新しい発見がたくさん生まれます!」というメッセージが子どもたちに伝えました。



火星探査の研究をしている先輩

大阪公立大学 工学部 航空宇宙工学科の**井上翔太さん**は、宇宙や惑星を探査するための技術を研究しており、現在は「火星を飛ぶ飛行機(探査機)」の研究に取り組んでいます。火星のような地球とは環境の異なる場所で飛行機を飛ばすには、空気の薄さや重力の違いなど、さまざまな条件を考える必要があります。井上さんは、そうした環境でも飛べる飛行機の仕組みについて研究しているそうです。



木材の壊れ方を研究している先輩

京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 中谷允則さんは、木材がどのように壊れるのかというテーマを研究しています。木材が、どのような条件で、どこから壊れ始めるのかなどを調べることで、より安全で丈夫な材料の使い方につながります。スライドでは、木材の破壊の様子を観察する実験の写真や、家具の構造などの例を示しながら、「木材ってどうやって壊れる?」という研究テーマを子どもたちにも分かりやすく紹介してくれました。



【地域ラボ・継続チャレンジシリーズ】

地域の子どもたちが、少しずつステップアップしながらものづくりに挑戦するシリーズです。

河内長野市 | MCからの挑戦状《壹》micro:bitで音楽を奏でよ

日時:2025/08/20 13:00~14:30

場所:子ども第三の居場所 かわちラボ(大阪府河内長野市)

対象者:小学生6名

講師:中谷 敬子(NPO法人メイカーズクラブ) / 大学1年生サポーター1名

概要: かわちラボに届いた「メイカーズクラブからの挑戦状」。子どもたちはmicro:bitの光や音を使いながら、自分のアイデアを小さなプログラムにしてみました。正解を急がず、試して、変えて、また試す。そんな姿の中に、ものづくりの楽しさがいっぱい詰まっていた。



河内長野市 | MCからの挑戦状《貳》三輪モーターカーを自作せよ

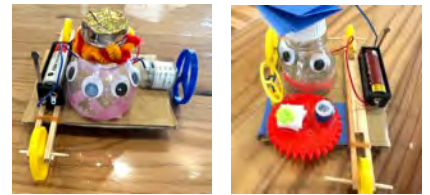
日時:2025/11/12 13:00~14:30

場所:かわちラボ(まちのスクール/大阪府河内長野市)

対象者:かわちラボの子どもたち

講師:中谷 敬子(NPO法人メイカーズクラブ)

概要: 挑戦状の第2弾は、三輪モーターカーづくり。乾電池とモーターをつなぎ、自分の車を走らせます。曲がったり、回ったり、思った通りに進まなかったりするたびに、子どもたちは原因を探して工夫しました。失敗も楽しい実験になる、元気な工作の時間でした。



河内長野市 | MCからの挑戦状《参》連射割りばし鉄砲でターゲットゲット!

日時:2026/03/06 13:00~14:30

場所:かわちラボ(大阪府河内長野市)

対象者:小学1~6年生 10名

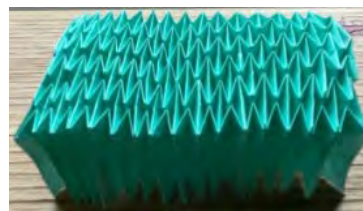
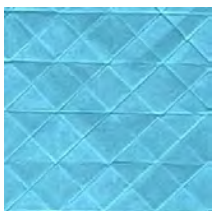
講師:中谷敬子、大学1年生JIN(CYT工作サポーター)

活動の様子: 忍者からの挑戦状という設定で、割りばしと輪ゴムだけを使った連射式鉄砲を作りました。高学年の子が年下の子を手伝う場面もあり、教室には自然な助け合いが生まれました。完成後は紙コップの的をねらって実験。遊びながら、しくみと工夫を楽しく学びました。



【ギャラリー】なまこおり(waterbomb pattern)

なまこ折りは、平面から立体へ一瞬で展開する構造として、宇宙工学のソーラーパネルや、医療用のステント(血管拡張器具)などの技術に応用されています。折り紙は、海外では「ORIGAMI」と呼ばれ、「折紙工学」という領域があり、さまざまな領域から研究され、応用が進められています。



【学校連携・授業でのものづくり】

学校の授業や学年に合わせて、子どもたちが自分の手で考え、作り、動かす活動です。

大阪市立長谷川小学校 | 折紙ツリー & 万華鏡ワークショップ

日時: 2025/12/01 3限: 1~4年生 / 5限: 5・6年生

場所: 大阪市立長谷川小学校

対象者: 小学校1~4年生7名、5・6年生6名(計13名)

講師: NPO法人メイカーズクラブ(指導・運営)

活動の様子: 低学年は折紙ツリー、高学年は万華鏡づくりに挑戦しました。紙を折り、組み合わせ、色を選ぶたびに、同じ材料から一人ひとり違う作品が生まれます。少人数の教室で、子どもたちは自分のペースで手を動かし、形が変わっていく面白さをじっくり味わいました。



【コラム】折り紙から未来技術へ: 大阪市立長谷川小学校でのものづくり体験

折り紙の「未来につながる力」: 講師が伝えたこと授業の終わりには、折り紙が単なる伝承遊びではなく、社会のさまざまな領域で役立つ「未来の技術」と深く結びついていることを、実例とともに紹介しました。

- なまこ折り(トラス構造): 医学分野で、血栓除去デバイスの構造として応用
- ミウラ折り: 人工衛星の太陽光パネルの折りたたみ・展開に利用
- 宇宙ヨット「IKAROS」: 折りたたみ可能な帆の展開システムとして活用

子どもたちは「折り紙が宇宙で使われているの?」と驚きながら聞き入っており、今日の体験が未来の学びにつながる瞬間を共有できました。



【大阪市総合教育センターとの連携と、体験を未来へつなげる学び】

本実践は、本実践は、大阪市総合教育センター(大学連携グループ)とNPO法人メイカーズクラブが連携して実施したものです。学校の先生方との綿密な事前調整のもと、子どもたちの興味の広がりや未来の学びへ橋渡しする場として設計されました。少人数環境を活かし、児童一人ひとりに寄り添いながら、折り紙の不思議さ、工夫して形にする喜び、そして社会とのつながりを感じられる実践となりました。



大阪市立長谷川中学校 | 工具を使って組み上げるドリフトカー制作

日時: 2025/12/11

場所: 大阪市立長谷川中学校

対象者: 中学生

講師: NPO法人メイカーズクラブ

活動の様子: 中学生たちは、ワイヤーストリッパーやニッパ、ドライバーなどの工具を使い、ドリフトカーづくりに挑戦しました。導線をむき、端子に固定し、部品を組み上げていく作業は、少し緊張する本格的なものづくりです。スイッチを入れてモーターが動いた瞬間、教室にはうれしい声が広がりました。自分の手でつくり、動かし、調整する経験を通して、「できた」という達成感と、ものづくりの面白さを感じる時間になりました。



【折紙・アートと構造を楽しむ】

一枚の紙から、形や構造の面白さを感じる活動です。手の中で生まれる小さな驚きを大切にしました。

堺市 | 第1回折り紙ラボ「ユニット折りの小箱」

日時:2025年6月14日 10:15~11:45

場所:堺市男女共同参画センター コクリコさかい

講師:NPO法人メイカーズクラブ

活動の様子: 小さな紙を一枚ずつ折り、組み合わせるうちに、手の中に立体の形が生まれていきます。色を選んだり、できた作品を見せ合ったりしながら、初めての方もゆっくり楽しめる時間になりました。親子で「ここはどう折るのかな」と声をかけ合える、あたたかな工作教室です。



堺市 | 第2回折り紙ラボ「世界に一つ 折紙ランタン」

日時: 2025年8月3日(土) 10:15~11:45

場所: コクリコさかい 実技室(堺市堺区宿院町東4-1-27)

対象者: 折紙が好きな大人・子ども※小学生低学年以下は保護者同伴

講師: 中谷敬子

概要: 折紙と光を組み合わせ、世界に一つだけのランタンを作る工作教室を開催しました。今回のテーマは、宇宙工学にも使われている「ミウラ折り」。人工衛星の太陽電池パネルにも応用されている折りのしくみを、わかりやすく体験できるように工夫しました。

参加者は好きな色の紙を選び、折る、組み立てる、光を入れるという工程にじっくり取り組みました。

紙の筒の形と強度を比べる実験や、ワイヤーストリッパー、ドライバーを使った作業もあり、

低学年の子どもたちも保護者に見守られながら、本格的なものづくりに挑戦しました。完成したランタンに光を当てると、折紙の中から模様がふんわり浮かび上がり、会場にはうれしい声が広がりました。参加者からは「背景知識も学べて、工作体験も充実していた」「本格的な工具が使えたのも貴重だった」といった感想も寄せられました。折紙の美しさ、構造の不思議さ、そして自分の手で作る楽しさが一つにつながった、夏休みにぴったりのものづくり体験となりました。



堺市 | 第3回折り紙ラボ「なまこ折り」

日時: 2025年10月19日(日) 10:15~11:45

場所: 堺市男女共同参画センター「コクリコ」

対象者: 記事記載なし

講師: NPO法人メイカーズクラブ

概要: 折り紙ラボの第3回として、不思議な形にふくらんだり縮んだりする「なまこ折り」に挑戦しました。まずシンプルな形から折り始め、少しずつ複雑な折り方へ。折り目の整え方や紙の厚みによって仕上がりが変わること、手を動かしながら実感しました。づくりの時間となりました。

後日、参加者からは右に示す作品写真とともに、「紙って大切だと実感しました」「ハーフサイズをつなげてみました」といった感想も届きました。折って終わりではなく、家に帰ってからも工夫を重ねたくなるのが、なまこ折りの魅力です。当日は堺まつりの本祭の日でもあり、会場近くではふとん太鼓の勇壮な姿も見られました。折り紙の構造美と、堺のまちのにぎわいが重なった、楽しい秋のものづくりの時間となりました。



【ギャラリー】茨木市の小学生の三輪モーターカー



【理工系への入口・キャリアを広げる】

理工系の学びや働き方を、身近な体験や語り合いから考える活動です。

大阪市 | 企業CSR支援 親子で挑戦！からくり鍵付き宝箱づくり

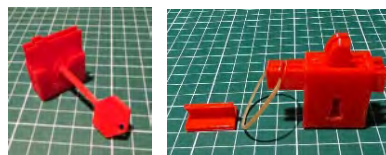
日時:2025/08/18 13:30~15:00

場所:株式会社JEI 大会議室

対象者:親子4組+大人1名(工作体験者数)

講師:NPO法人メイカーズクラブ(主催:株式会社JEI)

活動の様子: 鍵のしくみを学びながら、親子で「からくり宝箱」を作りました。棒鍵で開く箱は、仕組みがわかるほど愛着がわいてきます。親子で相談しながら組み立て、家に帰ってから飾りつけを楽しんだ作品もありました。企業の技術が、子どもたちの大切な宝物に変わる時間でした。



【企業紹介】株式会社 JEI

株式会社JEI日本で最初に電子錠を開発した創業者によるセキュリティ機器メーカー。安心・安全な社会づくりと地域連携に取り組んでおられます。また、山之口良子社長は、大阪商工会議所「第1回サクヤヒメ賞」受賞者でもあり、女性活躍推進にも力を入れておられます。



大東市 | 第4回MC祭2025 CAD設計&電子工作ワークショップ

日時:2025/08/21

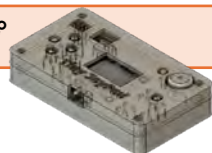
場所:大阪産業大学 藤本雄紀研究室(大東市)

対象者:小学生から高校生まで

講師:藤本 雄紀先生(大阪産業大学)

／NPO法人メイカーズクラブ／CYT大学生工作サポーター

活動の様子: 藤本雄紀先生のご講演は「モノづくりの民主化」の意義を語り、子どもたちにとって専門技術が身近になる時代の入り口を示してくださいました。続いて、「CADで形を考え、電子回路をはんだ付けし、3Dプリンタで部品を作る。本格的なものづくりを、子どもたちは一つずつ体験しました。完成したゲーム機で遊ぶころには、作る前とは少し違う表情に。難しさも含めて「自分で作れた!」と感じられる、にぎやかで熱のある一日でした。



兵庫県 | 冬のリコチャレ キャタピラジャパン&神戸市 はじめてのはんだ付けで「うそ発見器」をつくろう!

日時:2025/12/25(木) 13:00~17:00

電子工作キット製作体験 14:05~15:55

場所:キャタピラジャパン明石事業所対象者:理工系分野に興味がある中学生

講師:中谷 敬子 /NPO法人メイカーズクラブ/メイカーズクラブ若手会CYT 工作サポーター

活動の様子:キャタピラジャパン明石事業所で開催された「冬のリコチャレ2025」にて、中学生向けの電子工作教室を実施しました。今回のテーマは、自分でつくって試せる「うそ発見器」です。参加者は、はじめてのはんだ付けに挑戦し、抵抗やLED、配線の一つずつ取り付けながら回路を完成させました。うそ発見器の黄色い本体ケースは、メイカーズクラブ若手会CYTのメンバーがCADで設計し、3Dプリンタで造形したオリジナル筐体です。完成した基板をケースに組み込み、スイッチを入れて動いた瞬間には、会場から「ついた!」「動いた!」という声が上がりました。工作を通して、電子回路や3Dプリンタ、ものづくりの楽しさを感じられる時間となりました。



【コラム】メイカーズクラブの年に一度のお祭り — MC祭とは

メイカーズクラブでは、子どもから大人までが“本格的なものづくり”を楽しむ年に一度のお祭りとして、「MC祭」を開催しています。毎年テーマを変えながら、「作る」楽しさと、その背景にある技術や思考を伝えることを大切にしてきました。ドーン事共体との共催の3年間は、男女共同参画推進の視点を色濃くもちつつメイカーズクラブとしての地域への貢献のカタチづくる重要な3年間でした。過去の開催テーマは、

- 第1回(2022):木でつくる“動くおもちゃ
- 第2回(2023):モーターを使った車工作
- 第3回(2024):ゴム動力飛行機を飛ばそう!

今年(2025)第4回 MC祭2025は、大阪産業大学 藤本研究室との共催により開催しました。

テーマは、「モノづくりのプロセスそのものを楽しもう!」。ものづくりには多くの分野が関わってできています。その異なる複数の仕事を体験してもらいながら、複数のプロセスを味わうからこそその達成感、醍醐味を感じてもらうことを目指しました。今回の場合だと、電子回路を自分ではんだ付けし、CADで設計したオリジナルのゲーム機ケースを3Dプリントで出力。自分の手で「設計 → 製作 → 組立 → 遊ぶ」までを一貫して体験できる、まさに技術と創造の“総合実習”となりました。これからもMC祭は、子どもたちの“好き”を応援し、未来のものづくりを支える場として進化していきます。

堺経営者協会経営懇話会で講演

「Z世代に刺さる育成プロセスとは一人を育てる前に、関係を育てる」

2026年2月18日、堺経営者協会経営懇話会にて、中谷敬子代表が「Z世代に刺さる育成プロセスとは一人を育てる前に、関係を育てる」をテーマに講演しました。

講演では、私自身が学生や若者たちと関わる中で感じてきた戸惑いや、そこから学んだことをお話ししました。反応が薄い、意見を言わない、何を考えているのか分からない。そう感じたこともありました。しかし、実は彼らは無関心なのではなく、「この場合は安全か」「この人は信頼できるか」を、とても慎重に見ているのだと、若者たちとの関わりを通して教えられました。ぶつかりながら分かり合おうとしてきた世代と、まず観察することから関係を始める世代。その間で分かり合うために何が大切なのかを、私は若者たちに教えてもらったように思います。

彼らの感受性の豊かさと観察力の鋭さは、今の社会の中で自分を守るすべとして、小さな頃から身につけてきたものなのかもしれません。2025年度のはじめに、「コスパ」や「タイパ」という言葉をよく口にする学生がいました。私は、自分にはタイパを追い求める力があまりないことを自覚しているので、私の在り方や仕事の仕方を、彼はどう見ているのだろうと少し気になりながら、一年を過ごしました。新年度になり、ある頼みごとを彼に相談したところ、彼は「心当たりで声かけて今日やってしまいます」と即答。「急がなくていいよ、忙しいでしょう」と返すと、「今年度の目標は『すぐやる』ですから」と。私は、もうすっかり追い越されていると感じました。今では困ったときに頼れる学生の一人です。

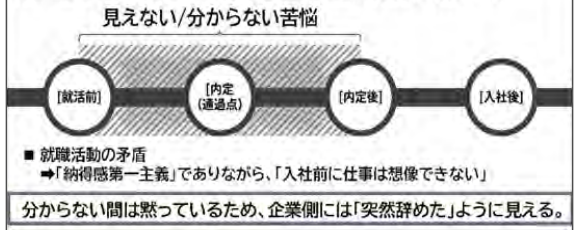
大切なのは、正しさを先に伝えるのではなく、まず関係を育てること。講演では、メイカーズクラブの活動や「匠サロン」での実践も交えながら、若者が安心して自分を出し、社会や仕事について少しずつ理解していける場の大切さを共有しました。その場は同時に、私たち社会人が、若者から学ぶ場でもあります。今後も、互いに学び・育ち合いながら、社会につながる活動を続けていきたいと思っています。(中谷)

「正しさ」の前に「関係」を ~ 前提のズレを構造化する 図1
態度ではなく、コミュニケーションの「前提」が根本的に異なっている。

	【大人(指導する側)】	【若者(Z世代)】
スタンス	最初から分かり合おうとする	安全が分かるまで距離を取る
アプローチ	まず「正しさ」を伝えようとする	まず「関係(安全性)」を確認する
前提	役割や立場で話を聞くはずだ	信頼できない相手の正論は受け入れない

正しい指導の前に、「信頼と安全の担保」が不可欠である。

社会人への移行期における「納得感」の欠如 図2
行動原理は社会に出ても変わらない。突然辞める真の理由。



解決策：移行期を支えるエコシステム「匠サロン」 図3
学生から社会人への心理的移行を支える「利害関係のない関係」



【若手会 CYT 自主企画】

若手会CYTが企画・主導・プロジェクト運営に関わりました。サポート参加にとどまらず、自ら考え、準備し、場を創っています。

交野市 | CYT完全企画 イチから作る！ぜんまいカー

日時: 2025/10/25 15:45~17:15

場所: 倉治公民館

対象者: 10組 / 小学4年生以上

講師: NPO法人メイカーズクラブ若手会 CYT

活動の様子: 若手会CYTが企画から運営まで担い、子どもたちとぜんまいカーづくりを楽しみました。動くしくみを考えながら、探究に変わります。子どもたちの真剣なまなざしに、運営した若手メンバーもたくさん学んだ時間でした。



神戸市 | Karakuri Craft Workshop

日時: 2025/12/06 13:00~15:00

場所: 兵庫国際交流会館 1F Nadacom Station

対象者: 外国人研究者・留学生とその家族

講師: 中谷 敬子 (日本文化講義)

CYT 藪淑乃 (工作講師)、

CYT他15名が工作支援・教材開発

活動の様子: 9か国から集まった皆さんと、日本のからくり文化にふれるワークショップを行いました。歯車やゼンマイを使って車を作る中で、言葉だけではない交流が生まれます。手を動かし、笑い合い、完成を喜ぶ時間は、ものづくりが世界共通のこぼになることを感じさせてくれました。

共催: KOKORO-NET in KOBE、後援: 神戸大学 G-navi



若手会 CYT年間活動報告会2025 ~これまでの歩みと、これからの連携~

日時: 2026年3月29日

場所: 新大阪

発表: 若手会CYT発表者: 武山実奈、石田大輔、中谷亘佑

2026年3月29日、若手会CYTの2025年度活動報告会を開催しました。CYTは、ものづくりを通して若者が自ら考え、学び合い、次の世代へつなぐことをめざすメイカーズクラブの若手チームです。報告では、2025年度の中心的な活動である、KOKORO-NET in KOBEとの共催事業「からくり人形に学ぶ日本文化体験ワークショップ」について、教材開発から当日運営までのプロセスが紹介されました。ゼンマイ式の車づくりから始まった教材は、「日本文化をどう伝えるか」という問いを受け、茶運び人形に着想を得たからくり工作へと発展しました。また、MC代表・中谷からは、MCとCYTの今後の連携に向けた現状と課題について話題提供がありました。オンライン参加の正会員、KOKORO-NET in KOBEの皆さま、CYTメンバーからも意見が出され、報告会は次年度の活動をともに考える場となりました。若者が自分たちで考え、試し、改善し、人に届ける。CYT活動報告会2025は、若手の挑戦と、MCがその挑戦をどう支えていくかを考える大切な節目となりました。



ほぼ月定例会

若手会CYTでは、ほぼ毎月、メンバーが対面、または、オンラインで集まり、それぞれの興味や関心を語り合ったり、学んだりの時間を重ねています。ものづくり、プログラミング、進路、研究、学校生活など、話題はさまざまです。誰かの「やってみたい」が、次の活動の小さな種になることもあります。2025年度は、6月頃から「からくり教室」に向けた準備が大きなテーマになりました。オン/オフライン、対面の場を組み合わせながら、教材の内容、工作手順、当日の進行、参加者への説明方法などを話し合いました。Google Workspaceも活用し、資料や写真、進行メモを共有しながら、それぞれが自分にできる役割を見つけて準備を進めました。普段のゆるやかな語り合いと、目的に向かって動く打合せ。その両方があるCYTの活動は、若者らしい自由さと、チームで形にしていける力が育っています。



ゼンマイ式の乗り物の開発と改良の試行錯誤プロセス

2025年度、若手会CYTは、KOKORO-NET in KOBEとの共催事業「からくり人形に学ぶ日本文化体験ワークショップ」に向けて、教材開発から当日の進行、参加者サポートまでを担いました。12月6日の本番に向けた取り組みは、6月のテーマ案出しから始まりました。決まったテーマは「ゼンマイ式で動く乗り物」。

【1号機の設計開発】

石田大輔さんが設計した1号機では、歯車とゼンマイを使い、3つの歯車をかみ合わせることで走行に必要な力を確保しました。フレームには自由にパーツを取り付けられるようにし、参加者が装飾を楽しめる工夫も盛り込みました。しかし、実際に工作教材として使うには、設計図だけでは見えない課題があります。

【2, 3号機の設計開発】

中谷亘佑さんは、1号機をもとに2号機を改良。部品数を減らし、3Dプリンタでの印刷を安定させ、角を面取りしてけがのリスクを下げるなど、作りやすさと安全性を高めました。さらに、10月には小学生親子を対象にした工作教室を実施。組み立ての難しさ、説明の伝わりにくさ、時間配分など、本番前に多くの課題を洗い出しました。参加者が実際に作る姿を見ることで、教材はさらに磨かれていきました。大きな転機となったのは、KOKORO-NET in KOBEからの「車づくりが日本文化の交流なのか」という問いでした。CYTはこの問いを受け止め、茶運び人形に着想を得て、立った状態で動くからくり工作へと発展させました。こうして、単なるゼンマイ車ではなく、日本のものづくり文化を伝える教材へと変化していきました。

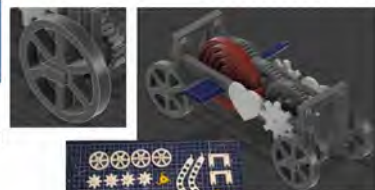


1号機の構成 (設計：石田大輔)

- 本体の特徴
 - 歯車とゼンマイを使うこと＝日本的
- 工夫
 - 歯車を3つ噛み合わせることで、走行に必要なパワーを確保している
 - フレームにパーツを自由に取り付け可能にしている (デコレーションが自由にできる)



車体内部のゼンマイ

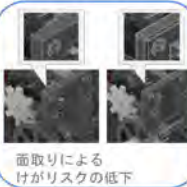


1号機からの改良 (2号機、中谷亘佑)

- 改良点
 - 同じ形のパーツを多く作ることで部品数を削減した
 - 1号機では角が鋭く印刷されたため、面取りによって鋭い角を減らした
 - ゼンマイを回すツマミと軸は、設計上わずかに高さの差があるため印刷を安定させるために分離した。



部品数の削減



面取りによるけがリスクの低下



印刷の助率化



2号機

構造変更(3号機) (設計：中谷亘佑)

- ゼンマイ車と茶運び人形
 - どちらもゼンマイで動く
 - 横にした時の重心が中心にとても近く、安定性があった
- 構造変更
 - 人形の頭部用のアタッチメント
 - 立つための車輪





当日のワークショップと、培われた力

ワークショップ・ジャーニー：緊張から友好へ変化

Step 1: アイスブレイク

「けん玉」などの披露で、会場の緊張が一気に解け、和やかな雰囲気になった。



緊張

Step 2: 没入 (工作)

歯車とぜんまいの組み立て。手振り笑顔で言葉の壁をカバー。



集中・没頭

Step 3: 驚き (デモ)

伝承「神戸人形」の実物実演。ユーモラスな動きに笑い声。



驚き・笑い



Step 4: 共創と歓喜 (装飾・発表)

折り紙でのデコレーションと、互いの作品を称え合う拍手。



歓喜・達成感



当日のワークショップでは、緊張していた参加者が、工作に没頭し、完成した作品を見せ合い、最後には拍手と笑顔が広がりました。スライドでは、この流れを「緊張から友好へ変化」と表現しています。ものづくりが、言葉の壁を越えて人と人をつなぐ時間になりました。活動を終えたメンバーからは、「組立の難易度が想像より高かった」「印刷時間やコストなど、設計以外の部分も考える必要があった」「設計上は完璧に見えても、実際に作ると問題点が多い。試作を繰り返すことが大事だと感じた」といった振り返りがありました。設計する。作ってみる。人に使ってもらう。課題を見つける。もう一度直す。CYTの取り組みは、ものづくりのプロセスそのものでした。若者が本気で挑戦できる場があれば、技術だけでなく、考える力、伝える力、仲間とやり抜く力も育ってきます。今回のからくり工作ワークショップは、若手会CYTが自分たちで考え、動き、学び合った、大きな一歩となりました。



匠サロンLive! トーク&懇話 ～挑戦を支える3つの力 技術者人生からの学び～

日時: 2025/11/22 14:30～16:00

場所: アットビジネスセンター PREMIUM 新大阪

対象者: 学生・若手技術者・社会人・一般の方

講師: 財津 修 氏



概要: 元Panasonic技術者の財津修さんをお迎えし、「挑戦を支える3つの力 — 技術者人生からの学び」をテーマに、匠サロンLive! ラウンドテーブルを開催しました。財津さんは、8ミリビデオ・デジタルビデオの規格化、放送用機器、カメラ関連製品の開発など、日本の映像技術を支えてこられた技術者です。記事では、VHS・ハンディカム機構開発の最前線に身を置かれた実践の軌跡から、「技術者として生きる力」が語られました。

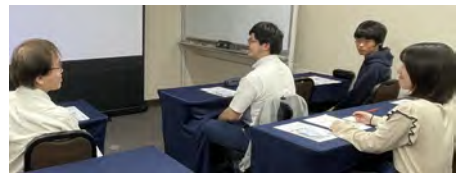
この日のキーワードは、**自分で決めて動く力、わからなくても考え続ける力、できるまで繰り返す力。**

財津さんの歩みから伝わってきたのは、技術とは知識だけではなく、失敗しても考え続け、

あきらめずに形にしていく姿勢そのものだという事でした。会場で回覧された製品の中のものが見えるユニットを若者が熱心にのぞき込んでいました。講演後のラウンドテーブルでは、若手育成をどう進めるか、技術者との連携をどう築くかをテーマに、参加者同士で率直に語り合いました。若者たちは積極的に問いを投げかけ、先輩技術者が自分の経験をもとに答える。そこには、世代をこえて実践知が手渡される、あたたかく力強い時間がありました。会場には、財津さんとともに働いてこられた技術者の方々も駆けつけ、若者とベテラン技術者が同じ机を囲みました。



メーカーズクラブがめざす匠サロンは、技術者の経験を次世代につなぐ「実働型シンクタンク」です。今回のラウンドテーブルは、ものづくりの技術だけでなく、挑戦し続ける心を若者へ手渡す、大切な一歩となりました。



【コラム】 匠の話題から

技術者の智恵とマインド「挑戦を支える3つの力」は、すべてに通じる

財津さんのお話を聞いて、あらためて強く感じたことがあります。それは、特許は専門家だけのものではなく、ものづくりに挑戦する若者にこそ知ってほしい大切な力だということです。何かを作るとき、私たちは「どうすれば動くか」「どうすれば使いやすくなるか」「どうすれば失敗しにくいかな」を考えます。その工夫の中には、まだ誰も形にしていなかったアイデアが隠れていることがあります。特許は、その工夫を社会に伝え、同時に守るための仕組みです。財津さんが語られた「使える特許」という言葉が、とても印象に残りました。製品を実際に作ってきた技術者だからこそ、どこが本当に大事な工夫なのか、どこを押さえれば技術として意味があるのかが見えている。だからこそ、現場で生きる特許の大切さを語る事ができるのだと思います。若い皆さんに伝えたいのは、特許は「難しそうな法律の話」ではなく、自分のアイデアを大切にするための道具だということです。工作でも、研究でも、開発でも、「なぜこうしたのか」「どこを工夫したのか」を言葉にしてみる事が、特許を考える第一歩になります。ものづくりには、手を動かす力が必要です。でも、それだけではありません。自分の工夫を説明する力、技術の価値を見つける力、そして社会に届ける力も必要です。特許を学ぶことは、その力を育てることにつながります。

ものづくりが好きな人、研究や開発に関心がある人、自分のアイデアを社会につなげたい人にとって、知的財産を学ぶことは大きな力になります。技術を生み出す力だけでなく、その価値を見つけ、守り、活かす力も、これからのものづくりには欠かせません。自分のアイデアを、自分だけのものに終わらせない。技術として残し、社会につなげていく。特許は、そのための大切な入口です。良い話だったで終わらせな一歩のひとつは、例えば、「知的財産管理技能検定(国家資格)」に挑戦などかもしれません。こうした資格への挑戦を思うとき、財津さんが語られた「**挑戦を支える3つの力**」は、まさに目標を達成するための実践を支えるマインドそのものだと気づかされます。技術を学び、技術を守り、技術を社会につなげる力を育てるために、知的財産の世界にも目を向けてほしいという財津さんの経験に裏打ちされた言葉が、若者たちの一歩につながることを願います。



【ベテラン女性技術者のキャリアデザイン】

いくつになっても人生は新しいことだらけ。世代を超えた語り合いで、自分らしい生き方を踏み出したい。

第2回 語りに学び問いに動くラウンドテーブル ～子育てとキャリアの交差点から学ぶ実践知

日時：2025/06/12 13:00～16:00

場所：KOBE Co CREATION CENTER

対象者：子育てとキャリア、女性技術者の実践知に関心のある方

講師・登壇者：田島喜美恵氏、小塚みすず氏、田村生弥氏、中谷敬子氏 ほか



概要：子育てとキャリアは、どちらか一方を選ぶものではなく、その時々で迷い、立ち止まり、考えながら、自分らしい形を探していくものです。第2回ラウンドテーブルでは、専門職として歩んできた女性たちの経験を手がかりに、子育てと仕事が生じる場面や悩みや工夫、そして実践から得られた知恵を分かち合いました。語りを聞き、自分の問いを見つめ直すことで、「納得する人生を主体的に切り開く」ためのヒントを受け取る時間となりました。ものづくりを支える人づくり、キャリアを支える対話の場として、メイカーズクラブの大切な活動の一つです。



第3回 語りに学び問いに動くラウンドテーブル ～道なき道を拓く技術者キャリアの選択

日時：2025/10/11 10:00～12:00

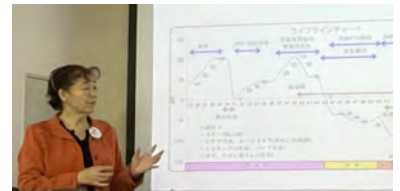
場所：アットビジネスセンター PREMIUM 新大阪

対象者：キャリア・理工系分野に関心のある参加者

講師：佐藤 由香利さん、石田 あずきさん、中谷 敬子さん



活動の様子：理工系の道を歩んできた方々のお話を聞きながら、自分のこれからを考えるラウンドテーブルです。仕事や学びだけでなく、暮らしや心身のことも含めて語り合う時間は、参加者にとって静かな励ましになりました。子どもたちの未来を支える大人にとっても、考えるきっかけの多い場でした。



【ブルーローズ事業】

折紙でものづくり交流 エストニア女性起業家の皆さんと

日時：2025/09/19

場所：大阪商工会議所ブルーローズ受賞者有志の交流会

対象者：エストニアの女性起業家の皆さん 11人と同伴者

講師：大阪商工会議所ブルーローズ受賞者有志/NPO法人メイカーズクラブ

活動の様子：メイカーズクラブ・代表の中谷が、日本折紙協会の折紙講師資格を持っていることから、エストニアから来られた皆さんとの日本文化交流セッションとして折紙セッションの講師を担当しました。日本で育った人なら多くが知っている「鶴」を日本とエストニアのペアを作って、折紙を通じて交流しました。言葉が違っても、折り方を見せたり、作品を見合ったりすると、自然と笑顔が生まれます。一枚の紙から形が生まれる驚きは、国をこえて伝わるもの。折紙が小さな橋となった、あたたかな国際交流でした。



【2026年度の予定】

企業助成・協働型のCYT若者活動支援を軸に、地方自治体、NPO法人、教育委員会との連携を進めます。個人会員からの提案による実践や、希望する学びの場も。

2026年度「ひょうご・みんなで支え合い基金」助成金採択

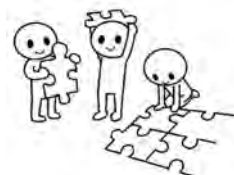
■ 採択テーマ：「若者が自ら企画実践する兵庫の技術現場と学ぶ対話・体験プログラム」

実施予定：2026年度

実施主体：NPO法人メイカーズクラブ・若手会CYT

状況：採択決定・実施準備中2026年度、メイカーズクラブは、公益財団法人ひょうごコミュニティ財団が実施する「ひょうご・みんなで支え合い基金・若者活動応援分野 助成金」の採択を受けました。採択された事業は、「若者が自ら企画実践する兵庫の技術現場と学ぶ対話・体験プログラム」です。兵庫県内を舞台に、若手会CYTのメンバーが自ら企画し、技術の現場にふれ、技術者との対話や体験を通して学ぶ機会をつくっていきます。この事業では、若者が単に「参加する」のではなく、自分たちで考え、準備し、実践することを大切にします。ものづくりの技術だけでなく、現場で働く人の考え方、試行錯誤の姿勢、社会の中で技術が果たす役割にも出会うプログラムをめざします。現在、若手会CYTでは、関係者との打合せを始め、実施内容の検討を進めています。若者が本気で挑戦できる場をどのようにするか、メイカーズクラブとしてどのように支えるか。2026年度の大切な取り組みとして、準備を進めていきます。

このプログラムを実りあるものにするためには、技術の現場を知る方、若者の挑戦を見守ってくださる方、企画や運営を支えてくださる方など、読者の皆さまのお力が必要です。できる範囲で、できる形で関わっていただくことが、若者にとって大きな励みになります。メイカーズクラブは、皆さまとともに、若者が自分の力を信じて一歩を踏み出せる場を育てていきます。



2026年度のメイカーズクラブの活動予定

地方自治体・企業CSR事業

06/06	東京都立川市 MBTIフィードバックセッション	08/09	姫路市 親子工作教室
06/27	神戸市 からくり工作 KOKORONETinKOBE	12/予定	兵庫県 KOKORO-NET in KOBE共催 (CYT)
07/25	池田市 小学生父子工作 ツナガリエ石橋	2026/03	CYT活動報告会(予定)
08/06	茨木市 防災工作	予定	堺市 折紙ワークショップ MC主催
08/07	大阪市 JEI(株)CSR事業 工作教室		

大阪市教育委員会事務局(第3教育ブロック)・大阪市総合教育センター連携事業

6月	大阪市立大正中央中学校・工作教室	夏休み(予定)	大阪市立長谷川小・中学校・CYT交流工作特別回(インターアクトジャパン(株)との共催)
予定	大阪市立長橋小学校・電気工作	4回(予定)	大阪市立長谷川小・中学校・テーマ探求連続講座(インターアクトジャパン(株)との共催)

ベテラン技術者・大人・保護者向け事業

4/11~	【社会人向け】組織と個人の共生24図勉強会(月例)	(予定)	大人のためのCADでつくる部(賛助会員提案企画)
(予定)	語りに学び問いに動くシリーズ		

メイカーズクラブの公式サイト <https://makersclub.jp> を随時更新しています。➡
引き続きどうぞよろしくお願いいたします。お問合せ support@makersclub.jp



正会員： 12名、賛助会員(個人)： 2名、
賛助会員(法人)： 1社 ; 中西電機工業株式会社(明石市)